



銅メダル湯元、母校へ凱旋

2008年8月19日、和歌山工業高校の歴史に新たな1ページが追加されました。北京オリンピックレスリング競技フリースタイル60kg級で卒業生の湯元健一選手が銅メダルを獲得しました。

高校時代の湯元選手は自分が納得いくまで、双子の弟と練習を続ける毎



日で、いろいろな強豪校の選手を相手に実力を発揮し、好成績を修めました。

そして、高校を卒業して6年後、その努力と実力が五輪の大舞台で開花し、銅メダルを和工高に持ち帰ることができました。

9月12日には、母校である和歌山工



業高校に結果報告に来てくれました。首から掲げられたメダルに和工生は興奮し、湯元選手に集まり、写真やサインをお願いする生徒が控え室である体育科職員室に長蛇の列を作るほどでした。

湯元選手は生徒一人一人の写真やサインに応じてくれて、すべてが終了するまで2時間くらいはかかったと思います。最後に学校を出るときには、湯元選手は私に「まだこのメダルは通過点です。4年後のロンドンでは双子で金メダルを獲得します」と約束してくれました。4年後、和工高には2つの金メダルが輝くことを期待しています。湯元選手、和工訪問お疲れ様でした。そして、感動をありがとう。(記・米倉)

台風を跳ね返して、体育大会実施



9月18日(木)、台風13号の接近で、天候が心配される中、最後まで白熱した体育大会が実施されました。3年生にとっては、最後の体育大会で、思い出作りに、精一杯頑張っていました。



た。また、学科改編によって募集停止となっているインテリア科、工業化学科、色染化学科、電子機械科の4科のクラス旗は、最後の勇姿をみせて威勢よく振られていました。競技では、いつものように綱引きが、一段と盛り上がり、生



徒と一体となって引いた先生方も歳を忘れて熱中していました。また、雑賀保育所のかわいい子供たちも玉入れ競技に女子生徒と一緒に参加してくれました。競技結果は、各学年とも機械科が優勝を独占し、2位は土木科でした。

土木クラブ 全国大会に出場

8月26日(火)兵庫県豊岡市の但馬ドームにて、高校生ものづくりコンテスト近畿大会(兼全国大会予選)測量競技部門で、12校が参加し優勝することができました。五角形の測量と、計算によって測点の位置を求めて、精度とタイムを競いました。3人1チームで、土木クラブの3年生 岡本純彰、



出口裕紀、濱野友寛が出場し、3人のそれぞれの役割を十分発揮できた素晴らしい競技でした。昨年がタイム差による惜敗で、準優勝でした。”今年こそは優勝”を合い言葉に、夏休み返上で毎日練習してきました。大会には、昨年度部長の馬場君も応援にきてくれて盛り上がり、一緒に優勝



の喜びを味わいました。

全国大会は、11月3日(月)大阪府布施工業高校にて開催されます。頑張りますので、応援よろしくお祈いします。



— 10月の行事予定 —

2日(木)~3日(金) 和工祭

8日(水) 中間考査発表

15日(水)~17日(金) 中間考査